

## II 基本構想

あやべボランティア総合センターは、市民一人ひとりが大切にしてほしいボランティアの「こころ」と、綾部独自の風土を活かした活動が共に広がることによる理想のまち綾部の実現を目指します。また、「10年間の成果と現状」、「アンケート調査による市民等の実態と意識」から導き出された「センターの目指すもの」の中で考察される6項目をセンターの重点課題とし、計画に反映させた取り組みを行います。

### 1 あやべボランティア総合センターの目指すもの

#### ◆あやべボランティア総合センターが広げていきたい 一人1ボランティアの「こころ」

あやべボランティア総合センターは、

- 一人ひとりが対等なつながりを大切にし
  - 「誰かの役に立ちたい」「追い風になりたい」「恩返しをしたい」  
という気持ちを、自分と等身大の行動に移すことにより
  - 多くの人の「縁」をつくり
  - 人ととのつながりの「糸」が紡がれ「絆」となり
  - 互いに関わり合えることの喜びに「幸せ」を感じ
  - その「幸せ」をボランティアとして「お裾分け」できる
- そんな一人1ボランティアの「こころ」の広がりを目指します。

※「平和の塔」から望む綾部の風景



※ふれあい広場 サロン喫茶「きらら」



※サマーボランティア体験2010

## ◆あやべボランティア総合センターが目指す綾部のまち ～こころ豊かな地域社会を目指して～

あやべボランティア総合センター（以下センター）は、「ボランティア国際年」の平成13年に設立されて以来、10年間の取り組みを通じて、

- みどり豊かな自然
- 大切に受け継がれてきた文化やものづくりの精神
- 世界連邦都市宣言の「恒久平和への願い」に象徴されるように、誰に対しても「心の平和」を案ずることのできる人情味溢れる人柄や地域性

から派生した「福祉」「文化」「環境」など様々な分野におけるボランティアに数多く関わり、ともに歩んできました。

11年目から新たなスタートを切るセンターは、これまで築いてきた経験やつながりを活かし、市民一人ひとりの「可能性」を伸ばすとともに、ボランティア・地域・関係機関・企業との目的意識の共有による幅広い「協働体制」を築くことで、次代のニーズから生まれるボランティア活動や既存の活動の活性化を図り、社会的課題の解決や軽減につなげます。これらにより、多くの市民がボランティア活動に参加し、人と人が支え合う、つながる、関わり合うことの「喜び」を実感し、人・まち・自然が「いきいきと輝き」誰もがいつまでもこころ豊かに安心して暮らすことの出来るまち「綾部」を目指します。



※傾聴ボランティアの在宅訪問



※高齢者サロン 「こぶしの家」

## 2 センターの重点課題

---

「センターの10年間の成果と現状」「市民等の実態と意識」から問題点の把握と課題を明確にし、今後新たに「あやべボランティア総合センターの目指すもの」より考察される、センターの取り組むべき重点課題を下記のとおり設定しました。

- ①ボランティアの「したい」「してほしい」をスムーズにつなげよう！
- ②ボランティア情報を幅広く伝えよう！
- ③親しみのあるセンターづくりを行い、多くの市民に活用してもらおう！
- ④ボランティア活動への参加促進や活動支援により、担い手の育成につとめよう！
- ⑤幅広い関係機関との連携を図り、新たな取り組みにチャレンジしていこう！
- ⑥災害ボランティアなど必要とされるボランティア活動を支援しよう！